

ゴム分析の最新技術と出会うチャンスです！

第239回ゴム技術シンポジウム

ゴム分析の基礎と最新分析技術

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 分析研究分科会

協賛：日本化学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本金型工業会，日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本接着学会，日本複合材料学会，日本分析化学会，プラスチック成形加工学会，日本画像学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会（予定 順不同）

ゴム分析について確立された基礎的な内容から，今後応用の拡大が期待される最新の分析評価法まで揃えた講演会です。従来からの手法と最新の手法を用いた，ゴム配合，物性，架橋，劣化等を解析事例を通して，製品開発，研究，トラブル対策等のヒントを提供します。

日時：2017年11月13日（月）10：00～16：40

場所：東京電業会館地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL：03-3403-5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

開催日までにお振込ください

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第239回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail：kenkyuubukai@srij.or.jp）

	演 題	講 師・座 長
10：00～10：10	開会のあいさつ	分析研究分科会主査 星 埜 由典 【座長】住友ゴム工業(株) 坂口 祐美
10：10～11：40	ゴム分析の基礎 ゴムのテクノロジーを支える分析技術について，基礎的事項も含め概説する。また，ゴムの伸長挙動解析・不均一架橋構造解析などの可視化技術について述べ，ゴムの架橋・補強・破壊・劣化などについての理解を深めたい。	元・住友ゴム工業(株) 土肥 英彦氏 【座長】三新化学工業(株) 寺田 直樹
12：30～13：10	テラヘルツ分光法 テラヘルツ時間領域分光法を簡単に解説した後，これまで得られている実験結果を紹介しながら，エラストマー分析評価への応用の可能性について論じる。	久留米工業高等専門学校 平川 靖之氏
13：10～13：50	メガヘルツ粘弾性測定 バルク及び表面の超音波を応用した，せん断ひずみ下粘弾性測定技術を概説する。	高周波粘弾性(株) 小俣 順昭氏 【座長】(一財)化学物質評価研究機構 仲山 和海
14：10～15：00	ゴムの硫黄架橋反応のXAFS分析 ゴムの硫黄架橋反応分析手法として時分割XAFS測定法を紹介する。	(株)豊田中央研究所 福森 健三氏
15：00～15：50	ゴムの劣化総論 ゴムの熱劣化，オゾン劣化，疲労劣化などで生じる変化を紹介し，それらの変化を検出及び解析するための劣化分析法の基礎や注意点について解説する。	(一財)化学物質評価研究機構 齊藤 貴之氏
15：50～16：40	ゴムの熱分析	アイ・ティー・エス・ジャパン(株) 池永 仁氏
16：40～16：45	閉会のあいさつ	分析研究分科会副主査 仲山 和海

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。